

山形県の 津波浸水想定



平成28年

山形県環境エネルギー部
危機管理・くらし安心局
危機管理課

1. はじめに

山形県では、政府が「最大クラスの津波」を発生させる津波断層モデルを平成 26 年 8 月に公表したことを受け、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく「最大クラスの津波」による津波浸水想定を設定するとともに、「最大クラスの津波」を発生させる地震と津波による被害を想定し、今後の防災対策推進の基礎資料として活用することを目的に調査を実施し、「津波浸水想定図」等を平成 28 年 3 月に公表しました。

このパンフレットは、「津波浸水想定図」の内容や浸水開始時間などを、多くの皆様に知っていただくために作成したものです。

2. 「津波浸水想定図」とは

「津波浸水想定図」は、「最大クラスの津波」が悪条件下において発生した場合に想定される、浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

3. 「最大クラスの津波」とは

「最大クラスの津波」とは、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波を言います（「L 2 津波」とも言います）。

一方、「最大クラスの津波」に比べて発生頻度は高く、津波高は低いものの大きな被害をもたらす津波を、「比較的発生頻度の高い津波」と言います（「L 1 津波」とも言います）。

「津波浸水想定図」は、「最大クラスの津波」を想定して作成しています。

4. 「津波浸水想定図」の作成

「津波浸水想定図」は次の手順により作成しました。

（手順 1）「最大クラスの津波」の設定

- ① 山形県の沿岸を 7 つの地域海岸に区分
- ② 過去に山形県沿岸に襲来した実績津波高の整理
- ③ 発生が想定される津波の想定津波高の整理
- ④ 地域海岸ごとに「最大クラスの津波」を設定



「最大クラスの津波」やその被害を発生させる津波断層モデルとして

3 断層（F28、F30、F34）13 ケースを選定

【選定した津波断層モデル】

津波断層モデル	マグニチュード (Mw)
F28	7.7
F30	7.8
F34	7.7

【津波断層モデルの位置図】

